

# 小学五年生



五年 国語（解答）もくじ

5-20	5-19	5-18	5-17	5-16	5-15	5-14	5-13	5-12	5-11	5-10	5-9	5-8	5-7	5-6	5-5	5-4	5-3	5-2	5-1
古典に親しもう	古典に親しもう	古典に親しもう	昔話をしようかいしよう	鳥取の方言	鳥取の方言	意味をそえる言葉	漢字の由来	漢字の由来	文の組み立て	文の組み立て	国語辞典を活用しよう	国語辞典を活用しよう	熟語の構成	熟語の構成	熟語のしりとり	熟語のしりとり	熟語のしりとり	四年で習った漢字	四年で習った漢字
3	2	1		2	1		2	1	2	1	2	1	2	1	3	2	1	2	1

5-28	5-27	5-26	5-25	5-24	5-23	5-22	5-21
ローマ字	ローマ字	物語を読もう	新聞の特長と記事の書き方	読んで考えよう	敬語の使い方（けんじょう語）	敬語の使い方（あいさつ）	敬語の使い方（尊敬語）
2	1						

計画的に学習し  
ましよう。  
苦手なところは、  
自主学習ノートな  
どを使って、くり返  
し学習するといっ  
すね。



☆ 次の  に入る漢字を書きましよう。

① 漁業協同組合の役員になる。

② シャッターの下りた商店街はさみしい。

③ 寒さで水道管がはれつする。

④ 大雪で孤立して救助を求め。

⑤ 南極への航海をする。

⑥ 英語を覚える。

⑦ 体に害があるかどうか実際に験する。

⑧ 健康のために手料理を作る。

⑨ 大量の印刷物を配達する。

⑩ 未来への希望を語り合う。

⑪ 国産の小麦粉で作ったパン。

⑫ 飛行機のパイロットになる。

⑬ 胃腸が弱いので、やせている。

⑭ 長時間労働でくたびれる。

⑮ バスまで徒歩で行く。

⑩ 熱心に説明する。

⑪ こつこつと貯金する。

⑫ 百人一首を暗唱する。

⑬ 苦しい試合を戦いぬく。

⑭ お客さまに失礼のないようにする。

全部、小学校四年生で学習した漢字だよ。しっかり書けるようにしよう！



家の人のしるし ↓

5-2

四年で習った漢字 2 学習日 月 日 ( )

☆ 次の  に入る漢字を書きましよう。

① 海が荒れそうなの  が見られる。

② 鳥の  箱を  する。

③ 学級の目  をみんなで考える。

④  台に  を  く。

⑤  台が明るく  ます。

⑥ 野  の  をまく。

⑦  業式で  をのべる。

⑧ 国語  で言葉  べる。

⑨ 駅  で  く。

⑩ 子どものいたずらに  く。

⑪ 彼は  極  に手  げる。

⑫ 鳥取県  物  する。

⑬ 心の  から  ぶ。

⑭ ねむりが  い。

⑮  のある食  する。

⑩ 交通  を  する。

⑪ 何  も  に行  する。

⑫ 野生  が群  を  す。

⑬  を  する。

⑭ テスト  の結  に  足  する。

家の人のしるし

全部、小学校四年生で学習した漢字だよ。しっかり書けるようにしよう！



熟語のしりとり 1 学習日 月 日 ( )

☆ 熟語のしりとりをしましょう。空いているところに、どんな漢字を入れれば、うまくつながりますか。熟語を使った文の例を手がかりにして考えましょう。できた熟語の読みがなを ( ) に書きましょう。

(例) (熟語を使った文の例)

①にゆうせん ③しゅげい

入  
選  
手  
芸  
能

②せんしゅ ④げいのう



①(あいちやく) ③(せきじゆん)

愛  
着  
席  
順  
番

②(ちやくせき) ④(じゆんばん)

①(ついか) ③(ねつどう)

追  
加  
熱  
湯  
気

②(かねつ) ④(ゆげ)

①ぼくは、初めて絵画コンクールに□□した。

②わたしは、オリンピック□□になりたい。

③わたしは、□□クラブであみ物をしている。

④傘踊りは、鳥取県の伝統□□です。

①この人形にはとても□□がある。

②授業の前には早めに□□する。

③学期の初めに□□を決める。

④背が低い人から□□に並ぶ。

①□□の注文をする。

②フライパンを□□する。

③お茶の葉に□□を注ぐ。

④できたてのスープから□□が立つ。

①(たいせき) ③(せつがい)

体  
積  
雪  
害  
虫

②(せきせつ) ④(がいちゅう)

①(けつが) ③(じつこう)

結  
果  
実  
行  
動

②(かじつ) ④(こうどう)

①(れいせい) ③(しけつ)

冷  
静  
止  
血  
管

②(せいし) ④(けっかん)

①□□を量る。

②今年の□□は多いだろう。

③なだれによる□□がひどかった。

④□□をくじよする。

①去年の□□を上回った。

②□□のいいかおりがする。

③計画通り□□する。

④□□することは大切だ。

①母は□□な判断をした。

②ルーペを□□させて見る。

③包帯を巻いて□□をする。

④手首の□□が青く見える。

鳥取県の伝統芸能

傘踊りは鳥取県東部に伝わる全国的にもめずらしい伝統芸能です。鳥取県東部のことを因幡地方というので、「因幡の傘踊り」と言われます。

☆読みがなを書きましょう。

(かさおど) (いなばちほう)

傘踊り 因幡地方



家の人のしるし ↓ □

5-4

熟語のしりとり 2 学習日 月 日 ( )

☆ 熟語のしりとりをしましょう。空いているところに、どんな漢字を入れれば、うまくつながりますか。熟語を使った文の例を手がかりにして考えましょう。できた熟語の読みがなを ( ) に書きましょう。

(例) (熟語を使った文の例)

- ① でんせつ
- ③ めいあん



- ② せつめい
- ④ あんき



- ① いんさつ
- ③ しんぴん



- ② きょうしん
- ④ ひんしつ

- ① めじるし
- ③ しょうけい



- ② いんしょう
- ④ けいしき

① 倉吉の打吹山には羽衣□□がある。

② 新しいゲームの□□書をじっくり読む。

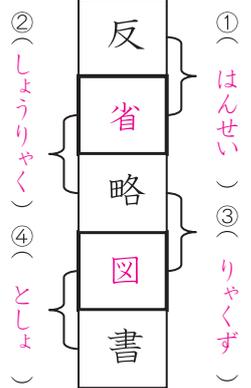
③ ヒット一本が両チームの□□を分けた。

④ ぼくは、山陰本線の鳥取県内にある駅名を全部□□している。

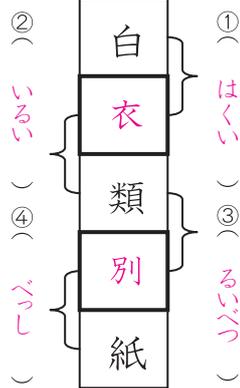
① 運動会のプログラムを□□して配る。  
 ② 政治を□□する。  
 ③ このくつは買ったばかりの□□だ。  
 ④ 鳥取の梨は□□にこだわって作られている。

① □□を発見しながら進む。  
 ② □□に残った本を紹介する。  
 ③ 「山」は□□文字から作られた漢字である。  
 ④ □□をそろえて書く。

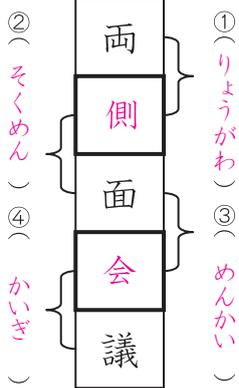
家の人のしるし ↓ □



① 今月の目標の□□をする。  
 ② くわしい事を□□して話す。  
 ③ 通学路の□□を書く。  
 ④ 夏休みは□□の貸し出しをしていない。



① 給食当番は□□を着る。  
 ② いらぬ□□をバザーに出す。  
 ③ 資料を□□する。  
 ④ くわしいことは□□に書いてある。



① 机の□□をしっかりと持つ。  
 ② あの人にはやさしい□□がある。  
 ③ 病院に家族の□□に行く。  
 ④ 午後に□□があるそうだ。

鳥取県の伝説

昔、天女がまいおりて子どもを二人産みました。天女は子どもたちに笛や太鼓を教えました。やがて天女は羽衣をまとして天に帰っていきました。子どもたちは、母をしたらって近くの山に登り、母にとどけと笛を吹き、太鼓を打ち鳴らしました。それから、この山を打吹山というようになりました。

☆読みがなを書きましょう。

( うつぶきやま ) ( はごろも )

打吹山 羽衣



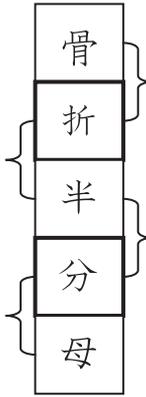
天女伝説の舞台 打吹山

熟語のしりとり 3 学習日 月 日 ( )

☆ 熟語のしりとりをしましょう。空いているところに、どんな漢字を入れれば、うまくつながりますか。熟語を使った文の例を手がかりにして考えましょう。できた熟語の読みがなを ( ) に書きましょう。

(例) (熟語を使った文の例)

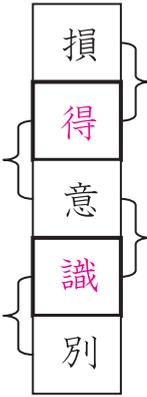
- ① こっせつ
- ③ はんぶん



- ② せっぱん
- ④ ぶんぼ

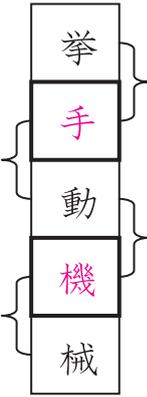


- ① (そんとく)
- ③ (いしき)



- ② (とくい)
- ④ (しきん)

- ① (きよしゅ)
- ③ (どうき)



- ② (しゅどう)
- ④ (きかい)

① 左手の小指を□□したが、三週間で治った。

② 旅行の費用を友達と□□した。

③ リンゴを□□食べた。

④ 分数で、横線の下に書かれた数字のことを、□□と言います。

- ① □□を考えて計算する。
- ② ぼくは、絵をかくのが□□だ。
- ③ 倒れて□□を失った。
- ④ 色の□□をする。

- ① わかった人は□□をする。
- ② うちの鉛筆けずりは□□だ。
- ③ この試合が野球を始めた□□になった。
- ④ わたしたちは□□に頼った生活をしている。

- ① (えいてん)
- ③ (こうか)



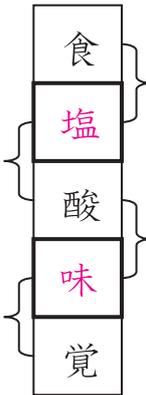
- ② (てんこう)
- ④ (かしゅう)

- ① (えんしゅう)
- ③ (へんきょう)



- ② (しゅうへん)
- ④ (きょうかい)

- ① (しょくえん)
- ③ (さんみ)



- ② (えんさん)
- ④ (みかく)

- ① 先月父は□□した。
- ② 鳥取に□□して来た。
- ③ 元気いっぱい□□を歌う。
- ④ 図書館から□□を借りる。

- ① 直径から□□を計算する。
- ② 学校の□□を探検する。
- ③ □□の地を旅してみたい。
- ④ となり町との□□。

- ① 水に□□を加える。
- ② □□を使った実験をする。
- ③ このみかんは□□が強い。
- ④ 父と母は□□が違う。

鳥取県の行事

鳥取市用瀬町には「流しびな」の行事が伝わっています。旧暦の三月三日に、無病息災を願って、晴れ着姿の女の子たちが、棧俵にのせた小さなおひなさまを川に流します。

☆読みがなを書きましょう。

- (おびようそくさい)
- (さんだら)

無病息災

棧俵



家の人のしるし ↓ □

5-6 熟語の構成 1

学習日 月 日 ( )

☆ 二字以上の漢字を組み合わせてできた言葉を熟語といいます。熟語の多くは、漢字二字で書き表されます。上のヒントをもとに熟語を完成させ、読みがなも書きましょう。

①

反対の意味を持つ漢字を組み合わせたよ。



高	低
勝	負

大	小
売	買

進	退
公	私

②

よく似た意味を持つ漢字を組み合わせたよ。



生	産
道	路

出	発
平	等

永	久
救	助

※生産のかわりに生活(せいかつ)でも正解

③

組になる意味を表す漢字を組み合わせたよ。



男	女
左	右

夫	妻
昼	夜

朝	夕
南	北

☆ 次の説明と同じものを、 から選んで( )に書きましょう。①にも②にもあてはまらないものもあるので、気を付けましょう。

家の人のしるし↓

① 上の漢字が下の漢字の意味をくわしく説明しているよ。

温風

温かい風

① (厚紙)



② 「くを」「くに」に当たる意味の漢字が下にくるよ。上の漢字が動作や作用を表し、下の漢字がその対象を表すよ。

作文

文を作る

① (造花)



② (開店)

増減	開店	親子
厚紙	造花	帰国

② (帰国)

鳥取県の伝統行事

鳥取市気高町酒津には、「トンドウ」という行事があります。トンドウとは、火をたいて正月かざりなどを燃やし、正月の神さまを送る行事です。酒津のトンドウで火をたく山はとても大きく、高さが5メートル近くもあります。小学生の男の子が、海水で清めた海藻を振り回し、トンドウの周りと各家庭を清めます。トンドウの行事は県内各地で行われています。あなたの地域ではどんなトンドウが行われているか知っていますか。

☆ 読みがなを書きましょう。

海藻 (かいそう)



# 熟語の構成 2

学習日 月 日 ( )

☆ 熟語の中には、上の漢字が下の漢字の意味を打ち消しているものがあります。

(熟語の意味)

不正

正しくないこと

未着

まだ着かないこと

無料

料金のいらないこと

非常

ふだん通りではないこと

□の中に、「不」「未」「無」「非」のいずれかを入れて熟語を完成させ、よみがなも書きましょう。また、右の例に習って熟語の意味をノートに書いてみましょう。



※無知(むち)でも正解です。

不要 (ふよう)

非行 (ひこう)

無数 (むすう)

未知 (みち)

無意味 (むいみ)

未完 (みかんせい)

非公式 (ひこうしき)

不器用 (ぶきよう)

無責任 (むせきにん)

未成年 (みせいねん)

熟語の意味が分からないときは国語辞典や漢字辞典で調べましょう。



☆ 次の熟語がどのような構成になっているか考え、熟語の意味を予想して書きましょう。

陸地

(地球の表面で、水におおわれていないところ。)

和食

(日本風の食事。)

閉店

(その日の商売を終えること。)

増減

(増えることと減ること。)



## 鳥取県の伝統行事

南部町の法勝寺には、「一式飾り」という伝統行事があります。「一式飾り」とは、素材が一式(一種類)でつくられた飾り物のことです。その年の干支や流行物などをテーマにつくられます。江戸時代後期に上方を中心に流行った「見立て」の文化が地方に流入したものと考えられています。

☆ よみがなを書きましょう。

干支

流行物



どう器一式でつくられた牛だよ

家の人のしるし ↓



国語辞典を活用しよう1 学習日 月 日 ( )

☆ 次の言葉は、文の中でそれぞれどういう意味を表しているのか、国語辞典で調べましょう。

(1)「解く」の意味を調べましょう。

① 結び目を解く。(意味) **ほどく。**

② 問題を解く。(意味) **正しい答えを出す。**

③ 緊張を解く。(意味) **取りのぞく。**

(2)「結ぶ」の意味を調べましょう。

① ひもを結ぶ。(意味) **くくる。つなぐ。しばる**

② 島と島を結ぶ橋が開通した。

(意味) **離れているものや場所をつなぐ。**

③ 条約を結ぶ。(意味) **約束など取り決める。**

※ 辞典によって意味の表現がちがうこともあります。

国語辞典では、いくつかの意味のある言葉の場合、①②③：と分けて説明しています。また、その言葉の使い方の例が書いてあるので、その文章を参考にして、どの意味になるのか考えるといいよ。



国語辞典では、形が変わる言葉は「言い切りの形」で引きます。おぼえているかな？

音が同じで、似た意味の言葉があるとき、どの漢字を使って書くか、困ることがあります。このように漢字の書き表し方がわからない時は、国語辞典で確かめてね。

☆ ーの部分ほどちらの漢字を使うでしょう。( )に書きましょう。

① 「生む」と「産む」

・ニワトリが卵をうむ。↓ ( ) **産む**

・よい作品をうむ。↓ ( ) **生む**

② 「泣く」と「鳴く」

・弟がなく。↓ ( ) **泣く**

・鳥がなく。↓ ( ) **鳴く**

③ 「製作」と「制作」

・芸術作品をせいさくする。↓ ( ) **制作**

・工場で品物をせいさくする。↓ ( ) **製作**



☆ 次の ( ) には体に関係のある漢字

(足・胸・手・耳・腹・鼻・口・首・顔・目)が入ります。

どの漢字が入るか調べましょう。



- ① (足) が地につく ↓ 意味 … (しっかりと落ち着いていること。)
- ② (口) が重い ↓ 意味 … (口数が少ない)
- ③ (手) をかける ↓ 意味 … (念を入れて世話をする)
- ④ (鼻) が高い ↓ 意味 … (得意になっている)
- ⑤ (腹) を抱える ↓ 意味 … (大笑いをする)
- ⑥ (耳) にたこができる ↓ 意味 … (同じことを何度も言われてうんざりする)
- ⑦ (胸) をうつ ↓ 意味 … (強く感動させる)
- ⑧ (目) を細める ↓ 意味 … (うっとり見とれる)
- ⑨ (顔) が広い ↓ 意味 … (知り合いが多い)
- ⑩ (首) を長くする ↓ 意味 … (待ち望んでいる)

慣用句とは、二つ以上の言葉が決まった形で結びついて、ある特別な意味を表す言葉です。

使われている言葉が何に関係があるかで、まとめておくといいね。例えば ① 体に関係のあるもの ② 衣食住に関係のあるもの ③ 動物に関係のあるもの ④ 植物に関係のあるものなど、どのくらい知っていますか？調べてみると、たくさんあります。



☆ 「手」に関係のある慣用句を例と同じように、五つ書いてみよう。

例 「手をつくす」意味 ↓ あらゆる方法をやってみる。

① 例 「手がかかる」意味 ↓ 手数がかかる。世話がやける。

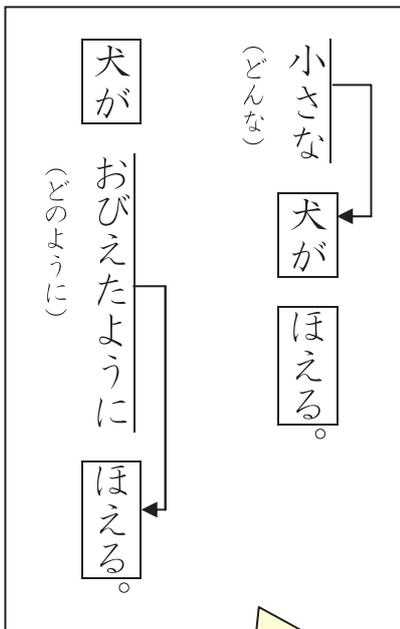
② 例 「手がつけられない」意味 ↓ どうしようもない。

③ 例 「手が離れる」意味 ↓ 子どもが大きくなって、世話がいらなくなる。

④ 例 「手につかない」意味 ↓ ほかの事が気になって落ち着いていられない。

⑤ 例 「手に入れる」意味 ↓ 自分のものとする。

文の組み立て 1 学習日 月 日 ( )



「小さな」「おびえたように」のように、文の中で、ほかの言葉をくわしくする働きのある言葉を修飾語といいます。

☆ 次の文の中から、主語、述語をさがして例のように  でかこみましょ

う。また、修飾語をさがして——線を引き、どの言葉をくわしくしているかを例のように矢印で表しましょう。

- ① 弟が楽しそうに走る。
- ② 大きな犬が、はげしくほえる。
- ③ ぼくの妹が、ノートを買った。
- ④ ボールが坂道を転がる。

修飾語は、「どんな」

「どのように」のほか

「どこを」「だれの」「いつ

「何を」「何の」「何で」な

ども表します。



家の人のしるし

⑤ わたしは、静かに部屋で勉強する。

⑥ 田中さんが、福引きで一等賞を当てた。

⑦ 父は、昨年、海外に旅行した。

⑧ 来週の日曜日は、小学校の運動会だ。

⑨ いかつり船の漁り火が、街灯のように明るい。

鳥取の特産品 「あごちくわ」

「あ」というのはトビウオのことです。あごのすり身を百パーセント使用し、素材のうまみをそのまま生かしています。歯ごたえがあり、かめばかむほど味わいがあります。

☆ 読みがなを書きましょう。

( そぎい ) ( あじ )

素材 味わい

